

第7回相模原市議会史編さん委員会 結果概要					
年月日	令和7年5月29日(木)	開会	午後2時20分	閉会	午後2時55分
出席委員	大槻会長 西家副会長 渡部委員(自民党) 森委員(さがみみらい) 後田委員(公明党) 臼井委員(立民) こさわ委員(日本維新の会) 長谷川委員(颯爽)	議会局	増田 議会議長 坪井 議会局次長兼政策調査課長 内山 政策調査課総括副主幹 茂木 政策調査課主事		
欠席委員	なし				
資料	別添のとおり				
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回相模原市議会史編集会議(令和7年2月6日開催)の報告について、資料1のとおり確認がなされた。 ・相模原市議会史編さん要綱第2条(基本方針)の改正について、原案(資料2)のとおり承認がなされ、要綱を改正することとされた。 ・編さん作業に係る情報発信の取組について、原案(資料3)のとおり承認がなされた。 ・相模原市議会史編さん要綱第7条(編さん方法)における「委託先の大学」について、原案(資料4)のとおり承認がなされた。また、今年度の予算確保に努める必要がある旨について、確認がなされた。 				
議事の概要	以下のとおり				
<p>大槻会長の進行により、次第に沿って、各案件について審議がなされた。</p> <p>(1)案件1の「第1回相模原市議会史編集会議(令和7年2月6日開催)の報告」について議会局より資料1に基づき説明を行い、確認がなされた。 また、令和2年以降の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する記述方法について、質疑等が行われた。</p> <p>(2)案件2「相模原市議会史編さん要綱第2条(基本方針)の改正」について、議会局より資料2に基づき説明を行い、原案(資料2)のとおり承認がなされた。</p> <p>(3)案件3「編さん作業に係る情報発信」について、議会局より資料3に基づき説明を行い、原案(資料3)のとおり取組を進めていくことで、承認がなされた。 本案件では、会議録の公開や寄附についての質疑等が行われた。</p>					

(4) 案件4「相模原市議会史編さん要綱第7条(編さん方法)」について、議会局より資料4に基づき説明を行い、原案(資料4)のとおり進めていくことで、承認がなされた。また、今後の予定について次のとおり説明を行い、今年度の予算確保に努める必要がある旨について、確認がなされた。

- ① 大学への委託費用を、記述編1冊につき1200万円(計2冊で2400万円)として設計していること
- ② 記述編1冊あたり2年間(計2冊で4年間)で作成していきたいこと
- ③ 指定都市移行から20年となる令和12年度の発行を目指していること
- ④ その場合、スケジュールを逆算していくと、今年度から大学への委託を開始する必要があり、今年度(令和7年度)は $1200\text{万円} \times 0.5\text{年} / 2\text{年} = 300\text{万円}$ の予算確保が必要と考えていること

本案件では、委託における契約方法や予算確保について質疑等が行われた。

以上